

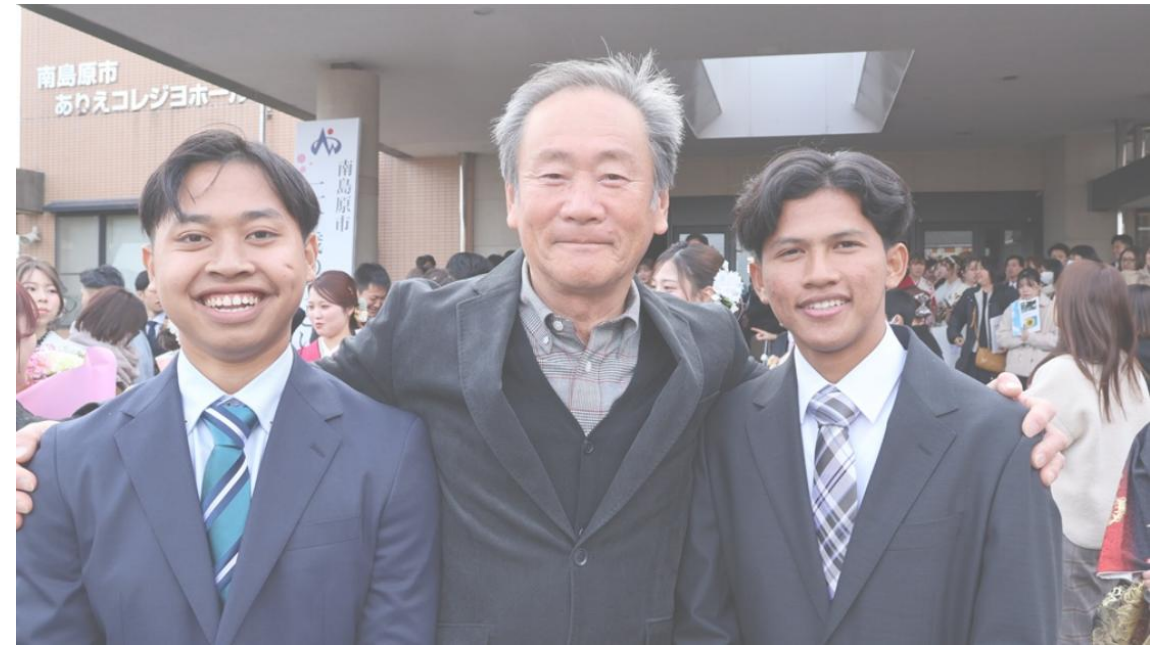
外国人実習生2人「二十歳のつどい」出席 夢に向かい異国で（南島原市）

2026.01.08

長崎県南島原市西有家町で開かれた「二十歳のつどい」に、地元のはえ縄漁船で船員として働くインドネシア出身の技能実習生2人が出席した。

異国での勤務のかたわら、地域の行事にも参加し、新成人としての節目を迎えた。

南島原市では水産業を中心に外国人材の受け入れが進んでおり、地域行事への参加を通じた交流も広がりつつある。



地域から問う 2026長崎県知事選（2） 南島原・外国人労働者

2026.01.26

2026年長崎県知事選を巡る長崎新聞の連載企画「地域から問う」第2回では、南島原市における外国人労働者の受け入れの実情を取り上げた。

2027年度からは技能実習に代わる新制度「育成就労」が始まり、一定の条件を満たせば職場を変える「転籍」が認められるようになる。

地元では、賃金水準の高い都市部へ人材が流出することへの懸念が語られている。



秋バレイショの収穫作業に従事する技能実習生ら＝南島原市

「登録支援機関等とのマッチング交流会」 を開催します！

2026.02.27

長崎県は、特定技能外国人の受け入れを支援する登録支援機関などとのマッチング交流会を開催する。
技能実習・特定技能の人材を紹介できる各種団体のほか、高度人材の紹介ができる団体も出展する。
会場では、外国人材受入総合相談窓口による出張相談も行われる予定で、県内事業者の人材確保を後押しする。



社員寮で同僚殺害の元技能実習生に 懲役14年判決

2026.03.11

長崎県内の社員寮で同僚の男性を包丁で複数回突き刺して殺害したとして、殺人罪に問われたベトナム国籍の元技能実習生の裁判員裁判で、長崎地裁は懲役14年の判決を言い渡した。

裁判所は犯行について「残酷で悪質」と指摘したと報じられている。

初公判は2月4日に開かれており、事件の背景や量刑をめぐって審理が続けられていた。



長崎地方裁判所

特定技能停止、外食企業苦境に 採用計画変更、就職せず帰国も

2026.05.08

政府が在留資格「特定技能1号」における外食分野の受け入れを一時停止したことを受け、長崎県内の外食企業が採用計画の変更を迫られていることが分かった。採用が内定していた人材が、就職しないまま帰国するケースも出ているという。人手不足が続く外食業界にとって、制度変更が事業運営に影響を与えている。



長崎・波佐見町で初の外国人消防団員 減少する団員確保に期待

2026.05.16

長崎県波佐見町の消防団に、建設会社で技能実習生として働くインドネシア出身の男性ら2人が入団した。同町にとって初めての外国人消防団員となる。全国的に消防団員の減少が課題となる中、地域に定着する外国人材が新たな担い手として期待されている。



波佐見町で外国人として初めて消防団員になったデニ・サプトラさん（前列の右から2人目）と、アーマド・ウバイディッラーさん（同3人目）＝2026年5月11日、波佐見町役場、上沢博之撮影 

出典：朝日新聞

<https://www.asahi.com/articles/ASV5H3QBNV5HTOLB007M.html>

外国人技能実習生が日本語スピーチで 母国の文化を紹介【長崎】

2026.06.08

長崎県佐世保市で、外国人技能実習生らによる日本語スピーチコンテストが開かれた。

「私たちの国の良いところ」をテーマに、出場者がそれぞれ母国の文化を日本語で紹介した。

ミャンマー出身の実習生は、伝統的な天然日焼け止め「タナカ」を取り上げ、その効能や使われ方を語った。



出典：TBS NEWS DIG(NBC長崎放送)
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/nbc/2717920>

護衛艦建造「外国人解禁」へ 受注増での人手不足（長崎造船）

2026.06.08

防衛需要の高まりを受けて受注が増える護衛艦建造の現場で、深刻な人手不足を背景に外国人材の活用が検討されていると報じられた。

長崎の造船現場では、これまで下請け企業を通じて技能者が応援に入る形が取られてきた経緯がある。

防衛装備の建造現場における外国人材の受け入れ方針が、今後の焦点となる。



「国際交流イベントin長崎」 が開催されます

2026.06.26

長崎県主催の「国際交流イベントin長崎」が開催される。
技能実習・特定技能・技術人文知識国際業務など、在留資格を持つ外国人社員だけでなく、日本人社員も参加できる内容となっている。
スポーツを通じて交流を深めることで、職場での相互理解につなげる狙いがあるという。

